米沢興譲館高等学校
体育文化後援会
会報

第 52 号
令和４年３月１日
山形県立米沢興譲館高等学校
体育文化後援会事務局
㈱川島印刷

「コロナに負けるな！」

体育文化後援会会長　小島長五郎

平素は、体育文化活動に関しまして、教職員並びに保護者の皆様部活連合ＯＢ連合会様・賛助会員様それぞれに、物心両面にわたりご支援ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染（ＣＯＶＩＴ－19）パンデミックは、令和四年に入りましても未だ収まる気配が無く、人類にとって大きな脅威となっております。教育現場では様々な対応に追われ、部活動においても感染対策を確りと取った上での部活動となっております。

時間的・距離的な制約は勿論の事、思春期を迎えた高校生に取りましては、精神面でも大きな負担になっていないかと、心配する昨今であります。そんな中、本校生徒は逞しく日々の部活動に取り組んで、名門米沢興譲館高校に恥じない、立派な成績をあげてくれました。

県高校総体では、団体でフェンシング女子、個人でフェンシング二種目、水泳競泳一種目、同飛込二種目で優勝してくれました。続く東北高校選手権は、残念ながら全国高校総体の予選を兼ねない競技・種目は中止され、本校からは陸上と水泳競泳・飛込のみの参加、次の全国高校総体（インターハイ）には、団体でフェンシング女子、個人でフェンシング二種目、水泳飛込二種目の出場でした。中でも水泳飛込では、本報三ページにしめした通り、東北優勝・全国入賞と素晴らしい戦績を残してくれました。新人でも、女子駅伝が県四位で初の東北大会出場を果たした他、フェンシング、ホッケー、弓道、水泳競泳、スキーで東北、フェンシングエペ女子団体、弓道女子、スキー男女が全国選抜等への出場を決めています。

文化活動でも、ＣＳＳ部が、WRO Japan2021で県一位となり県代表として全国大会に出場、全国高総文祭自然科学部門にも出場しました。また、今年の県高総文祭美術展特選、文芸コンクール短歌最優秀で、来年の全国高総文祭（東京総文2022）へ二部門での出場を決めています。

今年度も新型コロナ感染を意識しながらの、ウィズコロナ部活動となると思われますが、文化部・運動部共に可能な限り部活動にも集中し、良い成績を残してくれるよう切に希望致します。

今後も生徒が全力で部活動に励む事が出来る様に、教職員の皆さんが安心して指導出来る様に体育文化後援会がしっかりと支援して参ります。

会員の皆様には、引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げ、挨拶と致します。

凱歌はわれに

校長　曽根伸之

体育文化後援会各位には、常日頃より本校生の体育文化活動の振興に物心両面にわたる多大なるご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、毎年ご支援を頂戴しております賛助会員の皆様、同窓会会員の皆様など、本校教育活動へのご理解とご協力をいただいております数多くの皆様方に、衷心より敬意を表するとともに、この場をお借りし、改めて感謝申し上げる次第です。

今年本校は、創立一三五周年を迎えました。九月十九日の創立記念日の記念講演では、本校平成十年卒で、アテネ、北京の両五輪に日本代表として出場し、二〇一〇年の広州アジア大会ではエペ団体で金メダルを獲得された、フェンシングの池田（旧姓原田）めぐみさんをお招きいたしました。TOKYO2020オリンピックが、ようやく開催された今年、池田さんのご講演も、同様に二年越しの願いが実現したところです。残念ながら、感染状況の収まりきらない情勢にも配慮し、在校生のみで拝聴させていただきましたが、世界のひのき舞台を何度も経験され、この米沢興譲館で部活動に励み、学業との両立を果たしながら世界を目指して励まれた高校生時代の貴重なお話しをお聞きして、生徒たち一人ひとりが部活動に励み悔いのない高校生活を送ることの大切さを再認識し、それぞれの夢の実現に向け、決意を新たにすることができたと思っております。また、先輩の背中を追って、やがて近い将来、興譲館で育ったアスリートが、日の丸を背負って活躍してくれる日がくるのではないかと、期待に胸を膨らませながらお聞きした次第です。

さて、今年度、本校生は、それぞれに精いっぱいの活動成果を残してくれました。野球部は甲子園予選一回戦で五回コールドの貫録勝ちを収めましたが、上位進出はなりませんでした。県高校総体では、フェンシング女子学校対抗、男子フルーレ、女子エペ、水泳女子八〇〇m自由形、女子飛板飛込、高飛込の各競技種目で県を制しました。さらに、陸上競技女子走幅跳び、競泳の男子五〇m自由形で東北大会に駒を進めた他、フェンシング男女、水泳女子飛び込み競技ではインターハイに出場しました。また、ＪＯＣジュニアオリンピック高飛込、飛板飛込、日本選手権高飛込で全国入賞を果たすなど、三年生を中心に活躍しました。新人チームでも、陸上競技部の女子駅伝チームが県予選四位に入賞し県代表として東北駅伝出場しました。弓道では、男子団体が県三位、女子個人で県優勝を果たし全国選抜大会でも準決勝に進み、スキー部ではジャンプで県高校総体、国体県予選で優勝しインターハイ出場、クロスカントリー女子もインターハイに進むなど、各部が好スタートを切っております。一、二年生には、他にも楽しみなチーム、選手が多く、来春以降の活躍に多いに期待がもたれます。一方、文化活動でも、ＣＳＳ部が、WRO Japan2021で県一位となり県代表として全国大会に出場、全国高総文祭自然科学部門にも出場しました。科学の甲子園や県探究型学習発表会出場者も、それぞれ県トップレベルの評価を得ており、ＳＳＨ事業の成果と、全校体制による探究型学習の推進が生徒たちの文化・研究活動の礎となり、将来に向けても大いに活躍の期待される人材が育っております。また、吹奏楽コンクール等での吹研の活躍、県高総文化祭特選の美術部、県文芸コンクール短歌部門最優秀の文芸部など、文化部全体の活躍が、学校全体をいっそう元気にしていると感じています。

引き続き変わらぬお力添えをお願い申し上げますとともに、本会の益々のご隆盛と会員諸氏のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

令和三年度　事業報告

1　理事・幹事合同会議
令和三年四月二十日㈫　本校会議室
・令和二年度事業報告（案）及び決算報告（案）
・令和三年度役員構成（案）
・令和三年度事業計画（案）及び予算（案）

2　総　会
令和三年四月二十八日㈬　本校講堂
・令和二年度事業報告及び決算報告
・令和三年度役員構成（案）
・令和三年度事業計画（案）及び予算（案）

3　地区高校総体壮行式
令和三年五月六日㈭　本校講堂

4　県高校総体等壮行式
令和三年五月二十日㈭　本校講堂
・会長激励

5　各部ＯＢ代表・部活顧問との顔合わせ会
５月下旬
・中止

6　全国高校総体等壮行式
令和三年六月二十九日㈫　本校講堂
・会長激励

7　賛助会員募集・会費納入依頼
令和三年九月吉日
・依頼文郵送によるお願い

8　県高校新人等壮行式
令和三年九月三十日㈭　本校講堂
・地区高校新人が中止となり、時期をずらし実施

9　懸垂幕の掲揚
令和三年十月
・本校正面・北校舎

10　体育文化後援会表彰
令和三年十二月二十四日㈮　本校講堂
・会長より一個人を表彰

11　会報発行
令和四年三月一日㈫
・一般・特別・賛助会員に配付

12　大会・強化遠征等への補助

13　施設整備

白布マラソンＯＢ大会

〝何故私が白布マラソンにこだわるのか〟

主幸　土澤幸雄（昭和二十八年度卒）

令和三年、標記大会は、終息の見えない「コロナ」の中ではありましたが、実施要項を、これ迄参加していた学年、部、愛好会等に送りました。

結果として参加は、バレーボール部ＯＢ会、平成三年度の、佐々木謙介君が代表の「パトラン」チームの二チームでした。

大会当日九月十九日は興譲館創立記念日、その母校を左に見て南原を通過、船坂を超えて「高橋」ゴール。みんな晴れやかに笑顔で、バンザイを連呼、その場で解散しました。

私が何故「白布マラソン」にこだわるのか…。

私は昭和三十二年四月、新採で興譲館高校に奉職、担当の部は、高校時のバレーボール部、何とスキー部でした。興譲館スキー部は、全国に名を馳せたＯＢの多い伝統の部です。

私は、スキー部シーズンオフの夏場のトレーニングを重視、合宿も組みました。

ある年の夏合宿に、興譲館三十一卒業で慶応大学に進み、大学スキー部の主将を務めていた、川上順一君が激励に訪れ、合宿最後の日に「白布マラソン」をやろうと提案、そしてゴールは「高橋」ではなく、そこを通過し、数km上の、白布温泉郷も通過、標高千四百米の「硫黄鉱山」（現・天元台）に、しようと言う、大変な提案です。私は、即座に〝ＯＫ〟しました。それは、日頃のスキー部の練習から見て自信があったからです。

スキー部員もいよいよ士気を高め元気一杯に挑戦、白布温泉からは、くねくねまがった細い山の道、車社会以前の道…、又、急峻な登りもなんのその、鉱山迄一気に登ってゴール。昼食、休息をとって下山、もちろん合宿所学校迄走って帰りました。

この時のスキー部は、県高校スキー大会で、常勝の新庄・最上勢や、米工高に勝って優勝でした。

今も、この若き日の〝白布マラソン〟が、私の心身にこびりついて離れません。そして、それが、白布マラソンＯＢ大会を始めた、いわば根源となっているのです。

が、さて、このコロナ…この秋のＯＢマラソン大会については後日お知らせ致します。

まずは皆様、どうぞ日々、ご留意の上、ご健勝にてお過し下さい。

体育文化後援会 表彰者一覧

no	活動名	組	氏名	活動成績
1	水泳部	３－２	戸田　萌々香	第69回東北高等学校選手権水泳大会 女子３ｍ飛板飛込　第１位 女子高飛込　第１位 第76回東北水泳大会 女子１ｍ飛板飛込　第１位 令和３年度全国高等学校総合体育大会 ・第89回日本高等学校選手権水泳競技大会 女子高飛込　第８位 第44回全国ＪＯＣジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会 16歳－18歳　高飛込　第８位 16歳－18歳　３ｍ飛板飛込　第６位 ３ｍシンクロナイズド　第４位 第97回日本選手権水泳競技大会 飛込競技　１ｍ飛板飛込　第８位

上級大会出場者から

実力を出し切った夢の舞台

弓道部　鈴木佐緒莉

私は茨城県で行われた全国選抜大会に出場してきました。今まで動画の中でしか存在を確認できなかった、ずっと憧れとしてきた舞台だったのでとても嬉しかったです。結果は準決勝敗退。しかしその内容は今までの大会の中で一番良いものだったと思います。敗退が決まった三本目の後、後悔や諦めなどマイナスの感情を持つことなく最後まで引くことが出来ました。これはそれまで練習してきたものを出すことができ、その上でレベルが及ばなかったということを理解し、受け止められたからだと思います。私の今までの大会においての課題は、練習で出来なかったことを本番でしようとすることでした。今の私は、良い意味で自分の実力に見切りを付けられるようになったと思います。そして生で見る上手な人の射は、まさに〝無駄がない〟という言葉が似合います。私はこれから今ある無駄を減らすことに努めていこうと思います。支えて応援してくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいです。

競泳　東北大会

水泳部　船山　晃大

今年度、私たち水泳部は多くの結果を上位大会で残すことができました。県大会では三年尾形絢音は八〇〇ｍ自由形で優勝、四〇〇ｍ自由形で三位、三年佐原陸希は一〇〇ｍバタフライで二位、二〇〇ｍバタフライで二位、二年船山晃大は五〇ｍ自由形で三位と県の上位を占め、さらに三人とも東北大会に出場することができ、輝かしい結果となりました。個人の目標として県大会上位入賞、東北大会出場を掲げ、大会まで、たゆみない努力をしてきました。大会本番ではその努力を十分に発揮することができ、そして目標を達成することができました。東北大会では思うような結果を残すことができませんでしたが、課題が見つかり私の競技力向上のための大きな経験となりました。

今年度、私たちの活動を支え、応援してくださった方々には本当に感謝しています。この努力した経験は次回の大会や将来に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

インターハイに参加して

フェンシング部　相田　寿姫

フェンシング部の今年度の最も大きな出来事はインターハイに出場したことです。

個人男子フルーレ・個人女子エペ・女子フルーレ団体でインターハイに出場しました。三年生全員出場し、素晴らしい姿を私たち後輩に見せていただきました。

インターハイに出場できた大きな理由としては、普段から実戦を意識して練習に励んでいたからだと思います。日常の練習では、試合の組み立て方や相手との駆け引きなどを常に考えて練習していました。また、先生からのアドバイスを積極的にもらいに行くなどの行動も実を結びました。

団体戦では、各々が実力以上の力が出せるように努めました。全員で気持ちを揃え、時には厳しいことを互いに指摘し合いながら研鑽してきました。これにより、県予選および本戦では、個人の実力の和ではなく積が導けたと思います。

来年度もインターハイ出場を目指して奮励していきたいです。

WRO Japan 2021 決勝大会 in 東京 に参加して

CSSC　鑓水　大青
遠藤　圭隼
後藤　佳介

私たちは七月に行われた県大会を勝ち抜き、十月三日、「WRO Japan 2021 決勝大会 in 東京（オンライン全国大会）」に出場しました。WROは、教育用レゴブロックを使って機体を作成し、コースに適応したプログラムを組み、正確さと速さを競う大会です。決勝大会には、県大会での反省を活かし、プログラムの変更や機体の改良をして臨みました。本番では敗れてしまったものの、他のチームの機体やプログラミングの特徴をお聞きして、自分たちの今後の課題の発見に繋がったので良い機会となりました。また、全国のレベルの高さを体感することもできました。今回の大会で学んだことは、次の大会に活かしていきたいと思います。最後になりますが、この大会を通して協力していただいた、顧問の先生、先輩方に感謝申し上げます。

第四十五回全国高等学校総合文化祭 二〇二一 わかやま総文 自然科学部門 に参加して

CSSC　井上　桃希

七月三十一日から九日間行われた全国高等学校総合文化祭に出場した綿貫滉大先輩に同行する形で参加させていただきました。先輩は二年生のときからイノベーター育成塾において山形大学工学部の鹿野一郎准教授のもとで研究を行った「乾燥温度の違いにおける含水率変化とメイラード反応」というテーマでスライドによる発表を行いました。全国高等学校総合文化祭に参加したことで多くの全国レベルの研究発表を聞くことができ、とても刺激を受けました。どの発表も研究の方針、実験の手法がとても分かりやすく論理的で、その上発表の仕方においても多くの気づきがあり、私が目指すべき研究発表の姿が少しわかった気がしました。今回得られた経験を今後に生かしていこうと思います。

全国高文連北海道・東北文芸大会に出場して

新聞・文芸部　髙橋ののか

十二月二十四日に青森県八戸市で東北大会が開かれました。講師の先生のお話ももちろんですが、他校の文芸部員との交流が、私にとって大きな刺激になりました。終始和やかな雰囲気で進み、楽しく学ぶことが出来ました。特に、分科会でのグループワークでは、一人では気づけないような所も、話し合いを通して深く知ることが出来、文芸誌についての知見を深めることが出来たと感じます。また、八戸市美術館、八戸ブックセンター等の見学もしてきましたが、青森の文化や活動を知れるいい機会になりました。市内に宮沢賢治にゆかりのある建物もあり、八戸市の市長政策公約である、「本のまち」八戸を体感できました。

交流で上がったモチベーションや、学んだことを糧にして、より良い部誌づくりに励んでいきたいと思います。何より、この経験を自分自身のものにして、成長に繋げていけるようにしたいです。

令和三年度 部活動 活動報告

文化部

◇調理科学部

顧問　渡部弘美
前部長　鈴木智恵子
現部長　山木穂
　　村山千里

私たち調理科学部は、三年生六名、二年生七名、一年生十一名で活動しました。

今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響でさまざまな行事やコンテストなどが中止となりましたが、自分たちにできることを精一杯行っています。

通常の活動では、お菓子やおかず系などいろいろな種類のものを作っています。季節に合わせて作ることもあります。これらを通して各自の調理スキルを向上させています。そして、調理スキルと知識を高め、各級の食物調理検定に挑戦しました。

また、免疫力の向上につながると話題の発酵食品の講習会を行いました。市内の今野味噌店の今野さんを講師に手作り味噌をつくりました。発酵のしくみや材料の配合による味噌の違いなど興味深いお話お聞きしました。味噌ができる工程はシンプルですが奥が深く、秋の完成が楽しみです。

今年度もコロナ禍においても活動ができたのは、たくさんの方々の支えがあるからです。今後も感謝の気持ちを忘れず感染対策しながら有意義な活動をしていきたいです。

◇新聞文芸部

顧問　藤原洋子
　　遠藤優美子
前部長　梅津皓平
現部長　髙橋ののか

今年一年を振り返って

今年度、新たに三人の部員を迎え、新聞文芸部の活動がスタートしました。新聞班では、毎年恒例の新任の先生方の紹介から始まり、その他に、各大会や行事、興譲館ならではのＳＳＲについても新聞を発行してきました。また、コラムや社説にも力を入れ、山形県高等学校新聞コンクールで優良賞を頂きました。文芸班では、部誌『無限軌道』の発行に加え、短歌でも、コンクール等で実績をあげることが出来ました。

興譲館の中ではあまり目立たない部ですが、来年度も活発な活動をし、より良い新聞、部誌を作っていけるよう精進します。

◇美術部

顧問　佐々木綾子
　　江袋晴菜
前部長　大橋彩未
現部長　西長里恵

一年を振り返って

私たち美術部は、油絵や水彩画、ペン画のほか、立体や、デザインなど、様々な作品を制作しています。

今年度は昨年度は行うことができなかった美術部ＯＢ合同展覧会を開くことができました。外部の方に私たちの作品を見ていただく貴重な機会となりました。十月の県高校総合文化祭では、他校の生徒の作品を見ることで、自分らの作品制作の意欲をあげることができました。また、今年度は石膏デッサンやクロッキーなど、デッサン力の向上に繋がることを多く行いました。日々の積み重ねによって自分たちの描く能力が上がっていることを実感できました。そして、今年度もポスターや冊子の表紙のイラストなどの制作をさせていただきました。

昨年度はコロナウイルスにより、活動が制限されましたが、今年度は制限が緩和され、より多くの人に私たちの活動を知っていただくことができました。今後も自分たちの納得のいく作品を作っていけるように励みます。

◇吹奏楽研究クラブ

顧問　土井広一
　　進藤美沙
　　市ノ渡満与
前部長　門叶優花
現部長　岩田晏依

今年度は昨年度に比べ、コロナ禍で制限された中ではありますがとても充実した部活動をすることができました。五月の定期演奏会や夏のコンクールへの出場は去年経験できませんでした。二年生ですら準備や練習で戸惑うことがたくさんありましたが三年生の先輩方に引っ張ってもらい来年度につながる良い経験を積むことができました。また、

お客さんに自分たちの演奏を聴いてもらえることがどれほどありがたいことなのか、そして楽しいことなのかを改めて感じることができた一年でした。

顧問の先生、保護者の皆さま、いつもご指導、応援ありがとうございます。来年度も部員一丸となって練習に励み、美しい音楽を届け、たくさんの方々に応援していただけるような部を作っていきたいと思います。

◇ESS部

顧問　向田智弘
　　村岡彩ジェイミー
前部長　菅野翔太
現部長　齋藤映斗

ゆるく、楽しくをモットーに

私たちは日々、自分たちの英語力の向上を図り、日々仲間とともに切磋琢磨しております。

私たちの活動の中では昔ながらの授業のようにしっかりと先生の話を聞き、板書をとり、復習をするといった緊張感を持った学び方ではなく、日常生活の中で穏やかに英語を使う経験を養い、ネイティブの方々との交流の際にも臆することなく会話をするための口語的な英語の能力、というものを鍛えています。

今年度、私たちは県の英語ディベート大会に参加いたしました。本校からは二チームが出場しました。本番だけではなく事前の活動から一年生と二年生が協力することで、他の活動では築くくことのできないような団結力を得ることができたと思います。

◇CSS部

顧問　髙橋渉
　　山口大輔
　　石黒宏治
　　江袋晴菜
前部長　髙梨美佳
現部長　井上桃希

一年の部活動を振り返って

今年度の活動は、イノベーター育成塾での研究、校内研究、各種大会・学会や科学系イベントへの参加です。

今年度で九年目となったイノベーター育成塾では、山形大学工学部の先生方のご指導のもと、生物・化学・情報などの幅広い分野の専門的な研究に取り組み、英語での成果発表会も行いました。また、その一環として行われる塾長ゼミでは、城戸淳二先生から、プレゼンテーションや科学者としての視点で重視するべき点や大切なことをご指導いただきました。とても貴重な体験をさせていただき大変感謝しております。

コロナ禍で活動が制限されるなか、顧問の先生方から様々な活動の案内をいただき、それぞれの部員が多くの大会や発表会に積極的に参加し、多くのことに関心を持って意欲的に活動ができました。それに伴って様々な賞もいただくことができ、充実した一年となりました。

運動部

◇野球部

顧問　吉田真悟
　　志藤征多郎
前部長　佐藤琉光
現部長　青木凰介

私たち野球部は「甲子園で校歌を歌う」という目標を達成するため、日々の部活動に意欲的に取り組んでいます。今年は二年ぶりに夏の大会が開催され、今までの練習の成果を披露できる場となりました。結果は二回戦敗退でしたが、三年生の妥協せずに部活動に取組む姿は、新チームのこれ以上ない見本となりました。新体制で臨んだ秋季大会では、自分たちの弱点が浮き彫りになる試合となりました。新型コロナウイルスの影響により部活動が制限されていますが、一人一人が自立し、秋よりも成長した姿をお見せできるように活動していきます。今後とも応援宜しくお願いします。

◇陸上競技部

顧問　落合祐
　　小野歩
前部長　横山文香
現部長　舩山明莉

陸上競技部

私たち陸上競技部は、二年生十六名一年生八名、計二十四名で活動しています。

今年度も全員で気持ちを一つにまとめて練習を積むことで、多くの人が県新人大会に出場することができました。県新人大会は、新型コロナウイルスの中でも開催していただけることに感謝しながら、全員が全力で走りきることができました。東北大会は中止になってしまったので、この悔しさを来年の走りに活かしていきます。

さらに、県高校駅伝では今までの順位・記録を大きく上回る走りで襷を繋ぐことができました。女子は東北大会に出場することもでき、東北のレベルの高さを知れる良い経験となりました。

今回のシーズンでは悔しい思いをした人がたくさんいます。この悔しさを来年のシーズンではらせるように、努力を続けていきます。

これからも全員が走れることの喜びを感じながら、顧問の先生や保護者への感謝の気持ちを忘れずに一分一秒を全力で駆け抜けていきます。

◇バレーボール部

顧　問　後藤由香
田中　優
前部長　本田孝和
現部長　後藤駿斗

今年度バレーボール部は、後藤由香先生・田中優先生のご指導のもと、選手十四名・マネージャー六名で活動を開始しました。私たちは、冬場から全ての土台となる「レシーブ力の向上」を目標に、足の運び方を意識し、ブロックとレシーバーの位置取りをチーム内で考え、相手に対応することに注力しました。

五月の地区高校総体では、以前よりも粘り強くラリーを展開し、コンビを絡めた攻撃で点を取ることができました。県大会までは、活動に制限が加えられる中でも「ミスを減らす」努力を続けましたが、酒田光陵戦は実践不足を痛感した試合となりました。

新体制になり、「必死に取り組む本当の楽しさ」を追求して部活動を開始しました。レシーブの更なる強化に取り組み、精度を高めるためにパスから基本の動きを鍛え直しました。また、私たちの武器であるサーブやブロック、スパイクにも力を入れました。春高バレー県大会では、強豪の日大山形高校相手に粘り強いプレーを展開し、一セット取ることができました。このことは、チームにとって大きな自信になり、地区新人大会へ弾みとなりました。

地区新人戦は、長井高校に対して自分達のバレーを展開することができ、二位になることができました。現在、県新人大会に向けて、サーブレシーブからの切り返しに磨きをかけています。

私たちの課題は、「ボールコントロール力」の向上です。チーム全体で声を掛け合い、自分たちのバレーが展開できるよう励んでいきます。保護者やＯＢの方々の多大なるご支援への感謝の気持ちを忘れずに今後も頑張っていきたいと思います。

◇バドミントン部

顧　問　西部智広
佐藤好由
前部長　山口由悟
現部長　ランジェム彩葉

感謝の気持ちを持って

私たちバドミントン部は現在、二年生十人、一年生十六人の計二十六人で活動しています。今年度は外部コーチにもご指導いただき、より的確なアドバイスを貰いながらメンタル、フィジカル面での強化にも力を入れてきました。また、部員同士の仲の良さを活かして毎日楽しみながら互いに切磋琢磨して部活動を行なっています。日々拡大しているウイルスの蔓延で他校との練習試合や大会があまり無く、普段の練習もままならない事も多々ありました。ですが、いつも私たちを支えてくださっている顧問の先生や保護者の方々に感謝の気持ちを忘れず、地区高校総体では男女共に優勝、県高校総体では上位入賞を目指して日々の練習に取り組んでいきたいと思います。

◇サッカー部

顧　問　齋藤幸司
山口　優
前部長　松下晋也
現部長　青木秀汰

今年度の反省と来年度の抱負

本校サッカー部の目標である「県大会優勝・Ｙ１昇格」の実現に向け、今年度もチーム一丸となり日々の活動に取り組んできました。

春の県大会に敗れた悔しさを胸にスタートした新チームでは、県リーグで多くの勝利を目指していたものの敗戦が続きました。そのため日々の練習・練習試合を通して、個々のスキルアップによるチーム力の底上げを図りました。

迎えた高校サッカー選手権大会では二回戦で再び山形城北高校に、また、県新人大会では二回戦で東海大学山形高校と対戦して敗北し、自分たちが目指さなければならない到達点を確認できた試合となりました。

こうした敗戦を受けミーティングを行い、根本的な課題として「オフ・ザ・ピッチ」の改善が挙げられました。サッカーをする以前に、人間として成長が必要であることをチームとして共通認識し、今後は人として成長を遂げながらスキルアップ、チーム力の向上を図っていこうと確認しオフシーズンのトレーニングに臨んでいます。私たちに関わってくださる全ての方々に感謝の気持ちと来春の一つでも多くの勝利で恩返しをしたいと考えています。

◇バスケットボール部男子

顧　問　尾田憲昭
山口大輔
前部長　三ヶ山悠太
現部長　今井貴斗

新体制となって

代々の堅守速攻を継承し、地区優勝を目標に日々の練習に取り組んでいます。お互いの良いところや改善すべき点等を言い合える環境をつくり、コミュニケーションを大切に行っています。

新体制で挑んだ新人戦は、地区四位に終わり、僅差での敗戦だけにチームとしての力不足を痛感した。敗戦からの課題を練習に落とし込み、走力強化の走り込み、ディフェンスの強度を上げる等課題克服に取り組んでいます。

コロナ禍で活動制限がある中ですが、様々の方の支えがあっての活動であることを忘れず、感謝の気持ちを行動（結果）で示していきたい。

◇バスケットボール部女子

顧　問　小林啓明
村岡　彩
前部長　遠藤真緒
現部長　遠藤汐莉

「目標に向かって」

今年度、女子バスケットボール部は三年生八名、二年生五名、一年生十一名の計十六名で始動しました。昨年度はコロナウイルスの影響で中止となってしまった地区高校総体、県高校総体を今年度は行うことができ、三年生は最後まで諦めずにプレーする姿でチームに感動を与えてくれました。

◇ソフトテニス部男子

顧問　猪俣幸一
前部長　向田智弘
現部長　小山醇
　　小下健太

新チームでは地区優勝・県ベスト8を目標に掲げていますが、地区新人大会ではあと一歩及ばず準優勝となり、まだまだ実力不足であることを痛感しました。課題であるシュート率、コミュニケーション力の向上を目指して一つひとつの練習に励んでいきたいと思います。

日々ご指導くださる先生方をはじめ支えてくれるたくさんの方々に感謝し、仲間と共にバスケができる喜びを大切にしながら、より一層強いチームになれるよう精一杯頑張ります。

あと一歩

私たち男子ソフトテニス部はプレイヤー二十名、マネージャー二名の計二十二名で活動してきました。

今年度も新型コロナウイルスの影響により一部の大会が中止となったり活動も制限をうけたりする時期があったことは残念です。

本校三年生は層が厚く、団体戦では地区優勝に最も近い存在でした。また、県高校総体個人では二年・一年ペアで、四回戦であと一ゲーム取れれば、インターハイ出場が決まるところまで行きました。しかし、いずれも敗れ、勝利の喜びを分かち合うことはできませんでした。

三年生十六名が抜けたことは大きな痛手ですが、残った一・二年生六名で、この「あと一歩」を進めるため、工夫を重ね集中した活動を続けていきます。

◇ソフトテニス部女子

顧問　大貫哲二
前部長　中川玲子
現部長　安部理央
　　小関結子

私たち女子ソフトテニス部は、三年生三名、二年生六名、一年生五名の計十四名で活動しています。

私たちは「地区制覇」に加えて「個人戦で全ペア県大会出場」という目標を掲げ練習に励んでいます。地区新人大会では目標を達成することはできませんでしたが、一人ひとりが自分の課題を見つけることができた良い大会になったと思います。県新人大会では、練習量の差や試合の経験数の差を強く実感しました。目標を達成できるように練習の質を上げ、少ない練習時間を効率よく使っていきたいです。

ご指導、応援くださる先生方や先輩方、周囲の方々に感謝し、先輩方のような笑顔で最後を迎えられるように一日一日を大切に過ごしていきたいです。

◇フェンシング部

顧問　髙田和典
前部長　伊勢幹彦
現部長　和泉希音
　　相田寿姫

先輩を超えるために

私は団体戦の補欠として先輩方とインターハイに出場しました。全国大会はやはり地区大会、県大会とはまた違った空気感、これが先輩と参加できる最後の大会という私の思いがあり、私は試合には出ませんでしたが緊張し、観戦席から実際に戦っている先輩を試合状況に一喜一憂しながら応援しました。団体戦は惜しくも初戦突破できませんでしたが、インターハイに出場した先輩の勇姿と上級大会の空気感や全国大会に出る選手の試合を実際に見たり感じたことで私のフェンシングに良い影響を与えてくれました。先輩に続くぞという目標を持ち、またインターハイ前よりも練習で改善を繰り返す回数が多くなりました。そして、今回の大会に出場した時だけでなく日々の練習で私に色々な経験を受けさせてくれた先輩方と感染症が拡大・収縮が繰り返されるこの状況のなか大会を運営してくださった大会関係者の方々に感謝を申し上げ、先輩達の功績を超えられるように部活の皆んなと日々練習に励み精進していきます。

◇卓球部

顧問　菅沼正
前部長　山口憲武
現部長　山口達也
　　近野稜太

伝統と改革

私たち卓球部は、強くなること、楽しむことの二つを常に意識して活動を行っています。旧体制で挑む最後の試合であった地区高校総体では、団体戦男女ともに米沢中央高校に敗れ、二位という結果でした。新体制となった今、悔しさや先輩方の築いてきた興譲館卓球部の伝統をしっかりと受け継ぎ、結果を出すことで恩返しをしたいと考えています。また、伝統をそのまま受け継ぐだけでは不十分だと考え、部員全員が活動に集中できるようにするため、新しい用具を導入し、従来までの活動を徹底的に見直し、少ない時間を無駄なく使えるよう改善しました。卓球部は、明確な目標を達成するため、楽しみながらも着実に進歩しています。これからも目標を見失うことなく、部員一丸となって目標に向かっていきます。

◇水泳部

顧　問　石黒宏治
前部長　村岡彩音
現部長　船山晃大

今年度は競泳七名、飛込一名の計八名で活動しました。昨年から続くコロナ感染症により大会は男女別日程での開催。チーム全員で集まることが一度もないという異例の活動の一年でした。大会中止も危ぶまれましたが、関係者のご尽力のおかげで成果披露の場を私たちに与えていただいたことは大変ありがたく思っています。

大会結果としては県大会、東北大会、インターハイなど、上位大会に出場できました。

残念ながら現在水泳部は私一人となってしまいました。長い間受け継がれてきた伝統ある水泳部を廃部にしたくはありません。次年度はたくさんの新入生に入部してもらえるように水泳の良さを伝える勧誘活動を頑張ります。

◇山岳部

顧　問　菊地篤
前部長　伊藤謙汰
現部長　佐藤匠馬
　　近野竜規

山岳部の活動について

私たち山岳部は三年生五人、二年生四人、一年生六人の計十五人が所属しています。部活動では、私たちは年間を通して毎週月曜日に天気図を作成し、観天望気のスキルアップを図っています。春から秋にかけてはテント設営を行い、できるだけ短い時間で、素早く丁寧に立てられるように訓練しています。冬には、スポーツクライミングとして、オリンピックの種目にもなったボルダリングを行います。また、スキーや雪上歩行訓練も行います。雪上歩行は、スノーシュー、またはわかんを履いて雪上を歩きます。私たちはどんな時でも安全第一かつチームワーク重視で目標達成を目指しています。

◇柔道部

顧　問　荒井ゆり子
前部長　秋葉崇
現部長　髙橋大祉
　　楊剛

「力心達」

柔道部は三年男子一人、二年男子二人の三人だけです。正確に言えば、執筆者である二年の私は、三年の先輩が引退してからの入部でしたので、前期後期とも部員は二人だけでした。二人では寂しし、限界があるので、スキー部の皆さんと一緒にトレーニングをしたり、土曜日には米沢工業高校柔道部にお邪魔させていただいたりしながら活動してきました。

柔道場には歴代部員の名札が掲げられています。大人数だった時代もあり、何としてもこの歴史ある本校柔道部を次代につなげなければならないと思っています。まずは自分たちが柔道を楽しむこと。柔道を愛し、技と心を鍛えること。そうした姿を見て、後輩が入部してくれたらなあと思っています。

ＯＢ会からは物心両面にわたり、応援していただいています。今年はｉＰａｄをご購入いただいたので、技の掛け方の動画を見たり、自分たちのフォームを撮影して研究したりしています。これからも少人数でも工夫して練習に励んでいきます。

◇剣道部

顧　問　五十嵐弘一
　　松村宜典
前部長　佐藤光月流
　　金田藍佳
現部長　保科魁
　　渋谷寧南

私たち剣道部は三年生七名、二年生八名、一年生十三名の合計二十八名で活動を行っています。今年度は新型コロナウイルスの影響により部活動や大会が制限されることもありましたが、その中でも部員一人ひとりが日々の稽古を大切にし、お互いに声を掛け合いながら切磋琢磨してきました。新体制となり迎えた地区新人大会、県新人大会では良い結果は残せなかったものの、「チーム」ということを各々が意識し「繋ぐ剣道」というものを実感できる良い機会となりました。このような状況下で顧問の先生方、保護者の方々、ＯＢの方々の支援のもと、稽古をできていることに感謝し、これからも日々精進していきたいと思います。応援よろしくお願いします。

◇弓道部

顧問　村上由樹
前部長　原田知明
現部長　髙橋可奈子
　　平吹雪羽

自分の射と向き合って

いつもご支援ありがとうございます。私たちは、射技の向上のため、仲間たちと切磋琢磨しながら日々の練習に励んできました。今年度は、昨年度新型コロナウイルスの影響で行えなかった活動や大会を行うことができ、充実したシーズンとなりました。様々な活動や大会は、精神面、体力面、技術面を鍛え、自分の射に向き合う良い機会となりました。また、普段の部活動では、互いに指導し合ったり、自分で自分の課題をみつけ、解決策を考え、それを意識しながら練習したりとさらなる射技の向上に努めています。その甲斐もあり、今年度は多くの大会で良い結果を残すことができました。現在私たちは、男女団体インターハイ出場を目標に掲げています。この目標を達成するために、一人ひとりが一日を、一射を大切にし、部員一丸となって頑張っていきたいと思います。

◇ホッケー部（男子）

顧問　今崎徹郎
前部長　佐藤由惟
現部長　加藤倉魁
　　藤聖大

我々男子ホッケー部は「東北選手権大会三位以上」を目標に掲げ、日々の練習を頑張ってきました。今年度は例年と異なり、東北選手権大会へ県内から一校のみ出場できる状況となったため、東北選手権切符をかけた山形県高校総体では、チーム一丸となって全力を尽くしました。しかし、結果は負けてしまい、悔しい結果となってしまいましたが、同時に、決めるべきところで確実に決めることが出来るシュート力や相手に走り負けない持久力が必要であると痛感するなど、沢山の課題点を見つけることが出来ました。

現在はオフシーズンですが、我々男子ホッケー部を応援してくださる方々の期待に応えられるよう、春の大会でリベンジし「インターハイ出場」することを目標に、課題となった体力やフィジカル、シュートの精度強化に努めています。

◇ホッケー部（女子）

顧問　手塚剛
前部長　佐藤由惟
現部長　渡部史華
　　山田江里子

私たち米沢興譲館高校女子ホッケー部は、十月二十九日から三十一日に行われた、東北高校選抜大会に出場しました。今年度は山形県での地元開催でした。コロナ禍ではありましたが、観客が入って開催することができたことは、関係者の方々に感謝したいと思います。私たち一・二年生中心で今大会に臨みました。試合経験の殆どない私たちでしたので結果を気にせず、みんなで声を掛け励まし会い、自分たちの持てる力をすべて出そうと臨みました。

しかし、本番の試合は、宮城県築館高校に〇対八の大差で負けてしまいました。力の違いを感じることとなりましたが、最終目標であるインターハイ出場に向けてよい経験となりました。来年度こそは全国大会への出場を果たせるよう、この冬期間も日々精進してまいります。

◇スキー部

顧問　坂野理絵
猪俣幸一
石黒宏治
前部長　中沢愛歩
現部長　落合創太

我がスキー部は、三年アルペン女子、二年ジャンプ男子、同アルペン女子、加えて一年クロスカントリー女子とスキー競技三セクションが揃う県内唯一の部となりました。

校内でのトレーニングに加え、地元クラブの活動や県連の合宿等に参加し、シーズンを迎えました。三年生は受験のため引退しましたが、他各一名が県高校総体・選手権・国体予選を経て、ジャンプはインターハイ・国体、アルペンは東北高校選手権・全国高校選抜、クロスカントリーは東北高校選手権・インターハイ・全国高校選抜に出場しました。

地元山形で、来年はインターハイ、再来年は国体が開かれます。本校のみならず県全選手で切磋琢磨し、代表として全国で勝ち抜く力をつけていかなくてはなりません。その覚悟をもって練習に取り組んでいきます。

令和３年度置賜地区高等学校新人体育大会各競技学校対抗成績一覧

No.	種目名	男子			
		優勝	2位	3位	
1	陸上競技	九里学園	米沢中央	**米沢興譲館**	
2	登山	**米沢興譲館**	米沢工業		
3	剣道	米沢中央	米沢工業	長井	**米沢興譲館**
4	柔道	米沢中央	米沢工業	置賜農業	長井工業
5	弓道	長井	**米沢興譲館**	長井工業	
6	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	米沢中央	長井	**米沢興譲館**	米沢東
7	バレーボール	米沢中央	長井	**米沢興譲館**	
8	サッカー	米沢中央	米沢工業	**米沢興譲館**	
9	ソフトボール				
10	ソフトテニス	長井	長井工業	米沢工業	**米沢興譲館**
11	卓球	米沢中央	**米沢興譲館**	米沢工業	九里学園
12	バドミントン	長井	九里学園	米沢工業	**米沢興譲館**
13	フェンシング	米沢中央	高畠		
14	ホッケー	置賜農業	**米沢興譲館**		
15	テニス	米沢中央			

No.	種目名	女子			
		優勝	2位	3位	
1	陸上競技	九里学園	米沢中央	**米沢興譲館**	
2	登山	**米沢興譲館**			
3	剣道	米沢中央	**米沢興譲館**	長井	米沢東
4	柔道	米沢中央	置賜農業		
5	弓道	長井	米沢商業	**米沢興譲館**	
6	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ	九里学園	米沢東	**米沢興譲館**	長井
7	バレーボール	米沢中央	長井	九里学園	
8	サッカー	米沢中央			
9	ソフトボール	米沢中央	長井	南陽	
10	ソフトテニス	長井	米沢東	米沢商業	南陽
11	卓球	米沢中央	**米沢興譲館**	長井	米沢東
12	バドミントン	**米沢興譲館**	九里学園	長井	米沢商業
13	フェンシング	**米沢興譲館**	高畠		
14	ホッケー	**米沢興譲館**	米沢商業		
15	テニス				

令和３年度大会・コンクール等の結果一覧

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	県高校新人地区予選	県高校新人大会	その他の大会等
陸上競技	【男子】 400m　第５位　那須　悠介 800m　第３位　大木　和実 第４位　井上　寛太 第８位　田村　玲音 1500m　第５位　丸子　晴樹 第６位　井上　寛太 5000m　第２位　丸子　晴樹 第７位　伊藤　輝 第８位　鈴木　悠斗 5000mW　第６位　佐藤　琉斗 第７位　小野　陽平 3000mSC　第６位　伊藤　輝 第８位　佐藤　圭悟 ４×100m　第４位 齋藤　遼真・杉本　貴洸 金子隆太郎・寒河江正和 ４×400m　第３位 那須　悠介・皆川　泰毅 金子隆太郎・寒河江正和 走幅跳　第４位　寒河江正和 三段跳　第５位　金子隆太郎 【女子】 100m　第７位　川合　世蘭 800m　第６位　平　ひより 第７位　井上　阿弥 1500m　第３位　船山　明莉 第４位　吉田　陽乃 第６位　平　ひより 3000m　第２位　船山　明莉 第３位　吉田　陽乃 第６位　小玉　萌美 ４×100m　第４位 川合　世蘭・伊藤みつき 横山　文香・中川　綾菜 ４×400m　第３位 川合　世蘭・船山　明莉 伊藤みつき・横山　文香 走高跳　第３位　横山　文香 走幅跳　第４位　川合　世蘭 三段跳　第３位　横山　文香	【男子】 400m　出場　齋藤　遼真 寒河江正和 200m　出場　那須　悠介 齋藤　遼真 400m　出場　我妻　凱陽 寒河江正和 那須　悠介 800m　出場　大木　和実 井上　寛太 田村　玲音 1500m　出場　鈴木　悠斗 井上　寛太 丸子　晴樹 5000m　決勝進出　丸子　晴樹 出場　鈴木　悠斗 伊藤　輝 3000mSC決勝進出　伊藤　輝 出場　佐藤　圭悟 安達　理人 5000mW　出場　佐藤　琉斗 小野　陽平 佐藤　拓未 4×100m　出場 齋藤　遼真・那須　悠介 金子隆太郎・寒河江正和 4×400m　出場 那須　悠介・皆川　泰毅 金子隆太郎・寒河江正和 走幅跳　出場　寒河江正和 皆川　泰毅 金子隆太郎 三段跳　出場　金子隆太郎 【女子】 100m　準決勝進出　川合　世蘭 出場　伊藤みつき 200m　出場　川合　世蘭 伊藤みつき 400m　準決勝進出　伊藤みつき 出場　井上　阿弥 800m　準決勝進出　平　ひより 出場　井上　阿弥 安藤　結香 1500m　出場　吉田　陽乃 船山　明莉 平　ひより 3000m　第８位　船山　明莉 決勝進出　吉田　陽乃 出場　小玉　萌美 4×100m　出場 川合　世蘭・伊藤みつき 横山　文香・中川　綾菜 4×400m　出場 川合　世蘭・井上　阿弥 伊藤みつき・横山　文香 走高跳　第４位　横山　文香 →東北総体出場 走幅跳　決勝進出　川合　世蘭 出場　中川　綾菜 三段跳　出場　横山　文香 中川　綾菜	【男子】 400m　第７位　我妻　凱陽 800m　第６位　井上　寛太 第７位　大木　和実 第８位　田村　玲音 1500m　第５位　井上　寛太 第６位　鈴木　悠斗 第８位　田村　玲音 5000m　第３位　安達　理人 第６位　鈴木　悠斗 3000mSC　第４位　安達　理人 第５位　佐藤　圭悟 5000mW　第４位　佐藤　琉斗 第６位　小野　陽平 ４×100m　第４位 我妻　凱陽　斎藤　遼真 佐藤　優志　金子隆太郎 ４×400m　第４位 我妻　凱陽　斎藤　遼真 金子隆太郎　佐藤　琉斗 三段跳　第７位　金子隆太郎 やり投　第７位　佐藤　優志 【女子】 400m　第３位　伊藤みつき 800m　第２位　平　ひより 第５位　安藤　結香 第８位　井上　阿弥 1500m　第２位　船山　明莉 第３位　吉田　陽乃 第４位　平　ひより 第６位　安藤　結香 3000m　第１位　船山　明莉 第３位　吉田　陽乃 第４位　小玉　萌美 4×400m　第４位 伊藤みつき・平　ひより 中川　綾菜・船山　明莉 三段跳　第６位　中川　綾菜	【男子】 5000mw　第６位　佐藤　琉斗 【女子】 1500m　第３位　船山　明莉 3000m　第２位　船山　明莉	県高校駅伝 【男子】第10位 ２時間32分05秒 １区　鈴木　悠斗 ２区　大木　和実 ３区　安達　理人 ４区　井上　寛太 ５区　田村　玲音 ６区　佐藤　圭悟 ７区　佐藤　琉斗 【女子】第４位　東北大会出場 １時間19分58秒 １区　船山　明莉 ２区　平　ひより ３区　小玉　萌美 ４区　安藤　結香 ５区　吉田　陽乃 東北高校駅伝 【女子】第23位 １時間21分40秒 １区　船山　明莉 ２区　平　ひより ３区　小玉　萌美 ４区　安藤　結香 ５区　吉田　陽乃
硬式野球	１次予選 ２回戦　対　置賜農業　16－２ （５回コールド） 準決勝(代表決定戦) 対　九里学園　３－６ ２次予選 代表決定戦 対　米沢東　18－８ （５回コールド）	１回戦　対　山形工業　１－７	１次予選 ２回戦　対　米東　13－８ 代表決定戦　対　中央　４－14 （５回コールド） ２次予選 １回戦　対　長井　９－２ （７回コールド） 代表決定戦　対　南陽　10－８	２回戦　対　山形学院　１－13 （５回コールド）	第103回全国高等学校野球選手権山形大会 １回戦　対　置賜農業　14－１ （５回コールド） ２回戦　対　米沢工業　１－８ （７回コールド） 第36回1年生大会置賜地区予選 ※高畠・米商との連合 対　長　　井　６－７
バスケットボール	【男子】 ２回戦 興譲館　59－48　米沢工業 準決勝 興譲館　70－96　長　　井 ３位決定戦 興譲館　65－62　米 沢 東 よって、第３位。 第３代表で県高校総体出場。 【女子】 １回戦 興譲館　65－42　南陽 準決勝 興譲館　46－80　米沢東 順位決定戦 興譲館　78－60　長井 よって、第３位。 第３代表で県高校総体出場。	【男子】 ２回戦 興譲館　66－111　山形南 よって、２回戦敗退 【女子】 １回戦 興譲館　67－63　新庄南 ２回戦 興譲館　31－80　酒田東 よって、ベスト16。	【男子】 １回戦 興譲館　76－50　南陽 準決勝 興譲館　60－62　長井 順位決定戦 興譲館　72－78　米沢東 よって、第３位。第４代表で県高校新人大会出場。 【女子】 １回戦 興譲館　122－36　高畠 準決勝 興譲館　70－60　南陽 決勝 興譲館　67－69　九里学園 よって、準優勝。第２代表で県高校新人大会出場。	【男子】 １回戦 興譲館　57－108　山形商業 【女子】 １回戦 興譲館　57－75　山形商業	●選手権大会地区予選 【男子】 １回戦 興譲館　62－63　米沢工業 【女子】 １回戦 興譲館　124－29　高畠 準決勝 興譲館　72－55　南陽 決勝 興譲館　52－80　九里学園 よって、準優勝。第２代表で県予選出場。 ●選手権大会県予選 【女子】 １回戦 興譲館　46－104　羽黒

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	県高校新人地区予選	県高校新人大会	その他の大会等
バレーボール	リーグ総当たり戦 興譲館　２－０　長井工業 興譲館　２－０　置賜農業 興譲館　１－２　長　　井 興譲館　０－２　米沢中央 興譲館　２－０　米沢工業 ３位で県大会へ	１回戦 興譲館０－２酒田光陵	リーグ総当たり戦 興譲館　２－０ 置賜農業・長井工業合同 興譲館　０－２　米沢中央 興譲館　２－０　米沢工業 興譲館　２－１　長井 ３位で県大会へ	新型コロナウイルス感染拡大により中止	☆安部杯☆　⇒中止 全国高校選手権大会　置賜地区予選会として実施(代表権のみ争う) 興譲館　２－０　米沢工業 興譲館　１－２　長井 地区代表権獲得 ☆全国高校選手権大会県予選会 興譲館　１－２　日大山形 ☆地区１年生大会☆ 興譲館　２－０　長井 興譲館　０－２　米沢中央 興譲館　１－１　米沢工業
サッカー	☆予選リーグ 対　長井工業　○１対０ 対　九　　里　○２対０ 対　長　　井　○１対０ 予選リーグ 第１位 ☆準決勝 対　米沢工業　●０対３ 第３位　県大会出場	☆１回戦 対　山形東　　○０対０ ＰＫ３対１ ☆２回戦 対　城　北　●１対３ （１対１、延長０対２） ３回戦敗退	新型コロナウイルス感染拡大により中止	☆１回戦 対　山形工業　　○３対０ ☆２回戦 対　東海大山形　●０対６	☆第100回全国高等学校サッカー選手権大会山形県大会 １回戦 対　山形工業　○３対２ ２回戦 対　山形城北　●１対３ ２回戦敗退 ☆高円宮杯U-18サッカーリーグ2021山形県リーグ ３部Ｂブロック ５勝３敗１分　勝点16 第２位(２部昇格)
卓球	男子学校対抗　第２位 ２回戦　３－０　長井工業 準決勝　３－１　米沢工業 決　勝　１－３　米沢中央 女子学校対抗　第２位 １回戦　３－０　九　里 ２回戦　３－２　米沢東 決勝　　２－３　米沢中央 男子ダブルス 第３位 佐原　羽春・丸子　健人 女子ダブルス ベスト８ 二瓶菜津子・浦田日向子 ベスト１６ 村山　佳南・田畑　　湊 男子シングルス ベスト８ 佐原羽春(1-1) ベスト１６ 石谷一歩 ベスト３２ 山口達也、長谷部康大 髙木謙心、丸子健人 女子シングルス ベスト８　二瓶菜津子 ベスト32　浦田日向子 以上　県大会出場	男子学校対抗 １回戦　３－２　山本学園 ２回戦　２－３　酒田光陵 女子学校対抗 ２回戦　１－３　鶴岡工業 男子ダブル ベスト８ 佐原羽春・丸子健人 女子ダブルス ２回戦 二瓶菜津子・浦田日向子 村山　佳南・田畑　　湊 男子シングルス ４回戦 佐原羽春 ３回戦 石谷一歩 ２回戦 山口達也、丸子健人 １回戦 長谷部康大、髙木　謙心 女子シングルス ３回戦 浦田日向子、二瓶菜津子	男子学校対抗　県大会出場 １回戦　不戦勝　置賜農業 女子学校対抗　県大会出場 男子シングルス 近野稜太、栗原慶多 佐原羽春、丸子健人 女子シングルス 田畑　　湊 以上　県大会出場	男子学校対抗　ベスト８ ２回戦　３－１　酒田東 ３回戦　１－３　山形工業 女子学校対抗　ベスト８ ２回戦　３－１　上山明新館 ３回戦　０－３　山形城北 男子シングルス ３回戦　佐原　羽春 ２回戦　近野　稜太 丸子　健人 １回戦　栗原　慶多 女子シングルス １回戦　田畑　　湊	
ソフトテニス男子	団体 予選Ｂリーグ 対　　③－０　米沢東 準決勝　１－②　長井工業 第３位：全校県高校総体出場 個人 小下　健太・渡辺　裕大：第２位 小山　　醇・小林　　碧：第５位 矢作　怜也・髙橋祐太朗：第５位 遠藤稀来斗・佐藤　俊輔：第10位 以上４ペア：県高校総体出場	個人 小下　健太・渡部　裕大 ：４回戦敗退 ベスト16 小山　　醇・小林　　碧 ：２回戦敗退 矢作　怜也・髙橋祐太朗 ：１回戦敗退 遠藤稀来斗・佐藤　俊輔 ：１回戦敗退 団体 １回戦　②－１　日大山形 ２回戦　０－②　創 学 館	団体 男子は実施せず：(本校は地区高校夏季リーグの結果により地区２位として県へ)全校県高校新人出場 個人 代表決定まで実施：(以降は国体地区予選の結果により地区順位を県へ) 小下　健太・渡部　裕大 ：第１位 尾崎　公亮・佐藤　俊輔 ：第３位 以上２ペア：県高校新人出場	個人 小下　健太・渡部　裕大 ：３回戦敗退 尾崎　公亮・佐藤　俊輔 ：１回戦敗退 団体 １回戦　②－１　鶴岡南・高専 ２回戦　０－②　山形東	国体地区予選 小下　健太・渡部　裕大 ：第１位 尾崎　公亮・佐藤　俊輔 ：第３位 以上２ペア：県予選出場 国体県予選 小下　健太・渡部　裕大 ：３回戦敗退 尾崎　公亮・佐藤　俊輔 ：１回戦敗退 地区高校夏季リーグ大会 予選Ｃリーグ １－②　米沢工業 準々決勝　②－０　長井工業 準決勝　②－０　長　　井 決勝　　０－②　米沢工業 ：第２位

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	県高校新人地区予選	県高校新人大会	その他の大会等
ソフトテニス女子	団体 予選Aリーグ 0－③　長井高校 2－1　米沢工業 準々決勝 1-②　米沢東 ：県高校総体出場 個人 安部　理央・小関　結子 佐藤　李帆・大場菜々香 上記２ペア県高校総体出場	団体 ２回戦　1－②　鶴岡南 ：２回戦敗退 個人 安部　理央・小関　結子 佐藤　李帆・大場菜々香 ：２回戦敗退	団体 ③－０ 米工、③－０　高畠 (春の地区大会の結果により、５，６，７位による代表決定戦を実施　県大会出場) 個人 代表決定まで実施：(以降は国体地区予選の結果により地区順位を県へ) 梅津早哉香・小関　結子 阿部　萌生・大場菜々香 ２ペア県大会出場	団体 １回戦　②－１　山形北 ２回戦　1－②　酒田西 個人 梅津早哉香・小関　結子 １回戦敗退 阿部　萌生・大場菜々香 ２回戦敗退	国体地区予選 阿部萌生・大場菜々香 ３回戦敗退 梅津早哉香・小関結子 ２回戦敗退 ２ペア県出場 国体県予選 阿部萌生・大場菜々香 ２回戦敗退 梅津早哉香・小関　結子 １回戦敗退 地区高校夏季リーグ大会 予選リーグA　２位 ０－③　長　井 ②－１　米　工 準々決勝　1－②　南　陽
柔道	柔道(県大会出場) 【男子】 個人(81kg級) 楊　　剛　第３位 髙橋　大祉　１回戦敗退	県高校総体 【男子】 個人(81kg級) 髙橋　大祉　１回戦敗退 楊　　剛　２回戦敗退	地区新人 中止	県新人 【男子】 個人(81kg級) 楊　　剛 ３回戦進出	全国高等学校柔道選手権大会 山形県予選地区予選会 【男子】 個人(81kg級) 楊　剛　第２位 全国高等学校柔道選手権 山形県大会 【男子】 個人(81kg級) 楊　剛　１回戦敗退
剣道	【男子】団体　３位 予選１位 (○対高畠・米商、○対米東) 準決勝　×対　米沢工業 【女子】団体　２位 予選１位(○対長井、○対高畠) 準決勝　○対　米東 決　勝　×対　米沢中央 【男子】個人 ３位　遠藤　悠介	【男子】団体予選Ｃリーグ △対　酒田東 ○対　酒田西・羽黒 ×新庄北 結果 予選リーグ敗退 【女子】団体予選Ｂリーグ ○対　山形北 ○対　高畠 ×対　山形東 結果 予選リーグ敗退 個人戦 最高３回戦敗退	置賜地区新人体育大会剣道競技 【男子】団体トーナメント 準決勝　対　米沢工業　１：２ 敗退 ３位決定戦　対　長井　１：３ 敗退 結果　第４位 【女子】団体トーナメント 準決勝　対　米沢東　２：１ 勝利 決勝　対　米沢中央　１：３ 敗退 結果　準優勝 【男子】個人戦出場者 綿貫　剛　竹下 恭平　保科　魁 廣谷　翼 【女子】個人戦出場者 佐藤　遼佳(第３位)　渋谷寧南	【男子】団体 予選Ｇリーグ 対　酒西・羽黒　４：１　勝利 対　鶴岡東　０：３　敗北 結果　予選リーグ敗退 女子団体 予選Ｅリーグ 対　鶴岡中央　４：０　勝利 対　鶴岡南　２：０　勝利 対　山形東　１：４　敗北 結果　予選リーグ敗退 男女個人戦 最高２回戦進出	
弓道	【男子】団体　第２位　80射34中 県大会出場 【男子】個人　県大会出場権獲得者 梅津　大河　８射５中 【女子】団体　第３位　80射27中 県大会出場 【女子】個人 県大会出場権獲得者 鈴木　一加　８射６中 鈴木　心葉　８射４中 岩松　沙耶　８射５中 佐原　芽依　８射４中	【女子】団体 予　選　３位通過　60射29中 決勝リーグ 対　鶴岡南×８－８ 同中競射　２－２ 同中競射　１－３ 対　山形西×９－10 対　酒田西×４－10 対　明新館×４－８ 決勝リーグ敗退 ０勝４敗　80射25中 【女子】個人　鈴木　一加 予選通過　８射５中 準決勝敗退　４射２中 【男子】団体 予選敗退　60射14中	県高校新人大会地区予選会 【男子】団体　40射19中 県大会出場 【女子】団体　40射14中 県大会出場 個人　県大会出場権獲得者 【男子】　五十嵐裕直　８射５中 【女子】 秋葉　有咲　８射４中 鈴木　一加　８射５中 長　　美咲　８射４中 後藤　理伊　８射５中 鈴木　心葉　８射４中 鈴木佐緒莉　８射４中 岩松　沙耶　８射４中 髙橋　紅寧　８射５中 角田　　萌　８射５中 全国高校選抜地区予選会 【男子】団体　第２位　36射15中 射詰競射　県大会出場 【女子】団体　第２位　36射13中 射詰競射　県大会出場	県高校新人大会 【男子】団体 予選６位通過　40射16中 決勝トーナメント 対　寒河江　○９－６ 対　山形南　×６－12 第３位 【女子】団体 予選６位通過　40射14中 決勝トーナメント 対　山形西　×４－８ 準々決勝敗退 【男子】個人 五十嵐裕直 予選敗退 ８射3中 【女子】個人 予選通過 鈴木佐緒莉 ８射６中 予選敗退 秋葉　有咲 ８射２中 鈴木　一加 ８射１中 長　　美咲 ８射１中 後藤　理伊 ８射４中 鈴木　心葉 ８射３中 岩松　沙耶 ８射２中 髙橋　紅寧 ８射４中 角田　　萌 ８射３中 決勝　鈴木佐緒莉 ４射２中 第１位(射道優秀賞)12射８中 全国選抜・東北選抜大会出場 全国高校選抜県予選会 【男子】団体 予選通過　24射10中 準決勝敗退　12射３中 【女子】団体 予選通過　24射12中 準決勝敗退　12射４中	全国高校弓道選抜大会 鈴木佐緒莉予選通過　４射３中 準決勝敗退　４射１中 東北高校弓道選抜大会 鈴木佐緒莉　８射３中 予選敗退 あやめ杯争奪弓道大会 【女子】団体 第１位 平/宍戸/鈴木　24射13中 第２位 伊藤/髙橋/鈴木 24射７中 第３位 鈴木/近野/岩松 24射６中 【女子】個人 第１位　平陽菜子　８射皆中 第２位　伊藤歩莉　８射４中 遠近競射 第３位　宍戸里帆　８射４中 遠近競射 【男子】団体 第３位　梅津/五十嵐/永井 24射７中　射詰競射 置賜地区夏季リーグ大会 【男子】団体　優　勝 ５勝０敗　100射37中 【女子】団体　第５位 ３勝４敗　140射39中 米沢弓道連盟納会 高校【男子】個人 第２位　船山　諒(技能賞) ８射４中　射詰競射 第３位　永井　聖人 ８射３中　遠近競射 第４位　梅津　昂征 ８射３中　遠近競射 高校【女子】個人 第１位　宍戸　里帆　８射７中 第２位　鈴木佐緒莉(技能賞) ８射６中 第３位　秋葉　有咲 ８射５中　遠近競射 第４位　髙橋　紅寧 ８射５中　遠近競射 第５位　平陽　菜子 ８射４中　遠近競射

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	県高校新人地区予選	県高校新人大会	その他の大会等
山岳	男子団体 大会山域：長井葉山 （オケサ堀コース） 結果：第１位 チーム　A　B 読　図　9.5／10　10／10 記　録　3.5／5　2.5／5 団装備　5／5 個装備　24／25　23／25 体　力　◎　◎ 歩　行　◎　◎ 上級生の装備の防水処理に不備あり。 事前に十分な確認を。 女子団体 大会山域：長井葉山（オケサ堀コース） 結果：第１位 読　図　9／10 記　録　5／5 団装備　5／5 個装備　24／25 体　力　◎ 歩　行　◎ 前回地区新人大会の反省を踏まえ、様々な審査結果が好転した。	男子団体　行動隊①エントリー 大会山域：長井葉山 （オケサ堀コース） 結　果：第８位 体　力　26.5／40.0 歩　行　7.5／10.0 装　備　3.0／5.0 設営撤収　2.1／5.0 炊　事　－／－ 天気図　1.5／4.0 知識審査　2.4／4.0 計画書　1.2／2.0 行動記録　0.8／2.0 読　図　4.0／10.0 マナー　4.5／5.0 女子団体　行動隊②エントリー 大会山域：長井葉山（オケサ堀コース） 装　備　3.0／3.5 天気図　1.9／4.0 知識審査　1.9／4.0 計画書　1.6／2.0 行動記録　1.6／2.0 読図技術　7.0／10.0 マナー　5.0／5.0	地区新人大会中止	男子団体　行動隊②エントリー 大会山域：蔵王熊野岳（坊平～中丸山～熊野岳～刈田峠駐車場～坊平） 装　備　3.0／5.0 天気図　3.0／4.0 知識審査　3.5／4.0 計画書　1.6／2.0 行動記録　1.0／2.0 読図技術　4.0／10.0 マナー　5.0／5.0 メンバーで声掛けし、ちょっとしたミスを見逃さないこと。 女子団体　行動隊②エントリー 大会山域：蔵王熊野岳（坊平～中丸山～熊野岳～刈田峠駐車場～坊平） 装　備　4.5／5.0 天気図　2.9／4.0 知識審査　3.6／4.0 計画書　1.8／2.0 行動記録　1.0／2.0 読図技術　3.0／10.0 マナー　5.0／5.0 ポテンシャルは高い。十分に力を発揮できるよう練習を積んでいこう。	
バドミントン	【団体】 【男子】 １回戦 対　南　陽　３－０　勝利 準決勝 対　九里学園　０－３　敗戦 第３位 【女子】 １回戦 対　米沢東　３－１　勝利 準決勝 対　長　井　３－１　勝利 決勝 対　九里学園　３－１　勝利 優　勝 【ダブルス】 【男子】 小方　悠暉・山口　由悟　準優勝 川合　秀典・梅津　詠気 ベスト８ 諸橋　京河・中川　大成 ベスト８ 【女子】 原　環・佐藤結宇　優　勝 ランジェム彩葉・金子望愛 ベスト８ 安部真桜・後藤莉子　ベスト８ 梅津里妃・早川美沙希 ベスト８ 【シングルス】 【男子】 小方　悠暉　第３位 山口　由悟　ベスト８ 【女子】 原　環　優　勝 佐藤　結宇　第３位 梅津　里妃　ベスト８	【団体】 【男子】 １回戦 対　寒河江　３－１　勝利 ２回戦 対　山形工業　１－３　敗戦 【女子】 １回戦 対　日大山形　３－０　勝利 ２回戦 対　鶴岡南　３－２　勝利 準々決勝 対　山本学園　１－３　敗戦 ベスト８ 【ダブルス】 【男子】 小方悠暉・山口由悟２回戦敗退 川合秀典・梅津詠気１回戦敗退 諸橋京河・中川大成１回戦敗退 【女子】 原　環・佐藤結宇２回戦敗退 ランジェム彩葉・金子望愛 ２回戦敗退 安部真桜・後藤莉子１回戦敗退 梅津里妃・早川美沙希 ベスト16 【シングルス】 【男子】 小方　悠暉　１回戦敗退 山口　由悟　１回戦敗退 【女子】 原　環　ベスト８ 佐藤　結宇　２回戦敗退 梅津　里妃　ベスト16	【団体】 【男子】 １回戦 対　南　陽　３－１　勝利 準決勝 対　長　井　３－１　勝利 決　勝 対　九里学園　１－３　敗戦 第２位 【女子】 準決勝 対　米沢商業　２－３　敗戦 第３位 【ダブルス】 【男子】 諸橋京河・中川大成　第２位 佐々良太・本田侑翔　第３位 【女子】 梅津里妃・早川美沙希　第２位 ランジェム彩葉・金子望愛 第３位 安部真桜・後藤莉子　ベスト８ 【シングルス】 【男子】 諸橋　京河　第３位 佐々　良太　ベスト８ 【女子】 梅津　里妃　優勝 ランジェム彩葉　ベスト８ 金子　望愛　ベスト８ 以上県大会出場	【団体】 【男子】 １回戦　対　日大山形　２－３ 敗戦 【女子】 １回戦　対　鶴岡北　０－３ 敗戦 【ダブルス】 【男子】 諸橋京河・中川大成１回戦敗退 佐々良太・本田侑翔１回戦敗退 【女子】 梅津里妃・早川美沙希 １回戦敗退 ランジェム彩葉・金子望愛 １回戦敗退 安部真桜・後藤莉子１回戦敗退 【シングルス】 【男子】 諸橋　京河　１回戦敗退 佐々　良太　１回戦敗退 【女子】 梅津　里妃　第３位 ランジェム彩葉　１回戦敗退 金子　望愛　１回戦敗退	
フェンシング	【男子】 ○個人フルーレ 峯田　大空　第１位 ○個人エペ 峯田　大空　第１位 【女子】 ○学校対抗　第１位 （興譲館５－１高畠） ○個人フルーレ 和泉　希音　第１位 奥山　愛子　第２位 大久保南美　第３位 ○個人エペ 和泉　希音　第１位 ○個人サーブル 大久保南美　第１位 奥山　愛子　第２位	【男子】 ○個人フルーレ 峯田　大空　第１位 インターハイ出場 ○個人エペ 峯田　大空　第２位 【女子】 ○学校対抗　第１位 インターハイ出場 ○個人エペ 和泉　希音　第１位 インターハイ出場 ○個人サーブル 大久保南美　第２位	地区新人 中止	【男子】 ○個人エペ 櫻井　快仁　第２位 スワンテ ミンマウン　第３位 【女子】 ○学校対抗　第３位 ○個人フルーレ 相田　寿姫　第２位 ○個人エペ 寒河江理名　第１位 相田　寿姫　第２位 ○個人サーブル 遠藤ゆきの　第３位	第75回国民体育大会山形県予選会 ○少年男子フルーレ 峯田　大空　第１位 インターハイ ○女子学校対抗　出場 ○個人男子フルーレ 峯田　大空　ベスト32 ○個人女子エペ 和泉　希音　ベスト16 第47回東北総合体育大会 ○少年男子　第６位 峯田　大空　出場 第74回全日本選手権 ○個人男子エペ 峯田　大空　１回戦敗退 ＪＯＣジュニアオリンピック・カップ・フェンシング大会 【男子】 ○ジュニアフルーレ 櫻井　快仁　出場 ○ジュニアエペ 峯田　大空　出場

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	県高校新人地区予選	県高校新人大会	その他の大会等
					【女子】 ○カデフルーレ 遠藤ゆきの　出場 ○カデエペ 相田　寿姫　　出場 ○カデサーブル 五十嵐舞衣　出場 ○ジュニアエペ 相田　寿姫　出場 寒河江理名　出場 第46回全国高等学校選抜大会 フェンシング大会北海道・東北予選会 ○女子フルーレ団体　５位 ○女子エペ団体　２位 第46回全国高等学校選抜大会 フェンシング大会 ○女子エペ団体　今後出場
ホッケー	【男子】 対置賜農業　　第２位 0 － 4 0 － 3 0 － 3 0 － 4　14 【女子】 対米沢商業　　第１位 0 － 0 0 － 0 1 － 0 0 － 0　0	【男子】 対置賜農業　　第２位 0 － 4 0 － 2 0 － 2 0 － 2　10 【女子】 対米沢商業　　第２位 0 － 2 1 － 1 0 － 1 0 － 0　4	地区新人 中止	【男子】 対置賜農業 1 － 3 0 － 2 1 － 1 0 － 1　7 第２位 【女子】 対米沢商業 0 － 1 0 － 1 1 － 3 0 － 4　9 第２位	令和２年度東北高校選抜ホッケー大会 【男子】一回戦 対修明(福島) 0 － 0 0 － 1 0 － 0 0 － 0　1 【女子】一回戦 対築館(宮城) 0 － 3 0 － 2 0 － 2 0 － 1　8
水泳	地区大会は中止	【飛込】 女子高飛込　　戸田萌々香 第１位　172.25(東北大会出場) 女子３ｍ飛板飛込　戸田萌々香 第１位　226.90(東北大会出場) 【競泳】 【女子】 400ｍフリー　　尾形　綺音 第３位 (東北大会出場) 800ｍフリー　　尾形　綺音 第１位 (東北大会出場) 100ｍバタフライ　佐原　陸希 第２位 (東北大会出場) 200ｍバタフライ　佐原　陸希 第２位 (東北大会出場) 【男子】 50ｍフリー 船山　晃大　第３位 (東北大会出場) 100ｍフリー 船山　晃大　第６位 (東北大会出場)		【男子】 50ｍフリー　　船山　晃大 第２位 (東北大会出場)	【飛込】 東北大会 少年女子高飛込 戸田萌々香　第１位 少年女子３ｍ飛板飛込 戸田萌々香　第１位 インターハイ 少年女子高飛込 戸田萌々香　第８位 少年女子３ｍ飛板飛込 戸田萌々香　第11位 全国ＪＯＣ水泳競技大会 16歳-18歳女子高飛込 戸田萌々香　第８位 16歳-18歳女子３ｍ飛板飛込 戸田萌々香　第６位 16歳－18歳女子３ｍ シンクロナイズド 戸田萌々香　第４位 日本選手権水泳競技大会 女子１ｍ飛板飛込 戸田萌々香　第８位 女子３ｍ飛板飛込 戸田萌々香　第32位 女子高飛込 戸田萌々香　第15位 【競泳】 東北大会 【女子】 400ｍフリー　尾形　綺音　第26位 800ｍフリー　尾形　綺音　第15位 100ｍバタフライ 佐原　陸希　第30位 200ｍバタフライ 佐原　陸希　第27位 【男子】 50ｍフリー　船山　晃大　第36位 100ｍフリー　船山　晃大　第41位 東北高等学校新人水泳競技大会出場 【男子】 50ｍフリー　船山　晃大　第19位

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	県高校新人地区予選	県高校新人大会	その他の大会等
スキー		【女子】 大回転　原田　結子　第10位 （東北高校選手権出場権獲得） 【女子】 回転　　原田　結子　第９位 （東北高校選手権出場権獲得） 【女子】 ５㎞フリー 伊藤　そら　第７位 （東北高校選手権 ・全国高校総体出場権獲得） 【女子】 ５㎞クラシカル 伊藤　そら　第５位 （全国高校総体出場権獲得） 【男子】 スペシャルジャンプ 落合　創太　第１位 （全国高校総体出場権獲得）			県選手権 【女子】回転　原田　結子　第18位 【女子】大回転 原田　結子　第22位 【女子】５㎞フリー 伊藤　そら　第８位 【女子】５㎞クラシカル 伊藤　そら　第８位 【男子】スペシャルジャンプ 落合　創太　第４位 国体県予選 少年【女子】大回転 原田　結子　第10位 少年【女子】５㎞クラシカル 伊藤　そら　第６位 少年スペシャルジャンプ 落合　創太　第１位 （国体選手に選出） 第44回東北高等学校スキー選手権大会 【女子】大回転 原田　結子　第26位 【女子】大回転 原田　結子　第18位 【女子】５㎞クラシカル 伊藤　そら　第24位 全国高校総体・第71回全国高校スキー大会 【女子】５㎞フリー 伊藤　そら　第52位 【女子】５㎞クラシカル 伊藤　そら　第60位 【男子】スペシャルジャンプ 落合　創太　第38位 第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会 少年【男子】スペシャルジャンプ 落合　創太　今後出場 第34回全校高等学校選抜スキー大会 【女子】５㎞クラシカル 伊藤　そら　今後出場 【女子】スプリント1.2㎞ 伊藤　そら　今後出場 【男子】スペシャルジャンプ 落合　創太　今後出場 【女子】スーパー大回転 原田　結子　今後出場 【女子】大回転 原田　結子　今後出場 【女子】回転 原田　結子　今後出場

部活動名	活動報告
美術	第71回置賜地区美術展　特選：是川ゆりな「dollhouse」 特選：大橋彩未「彩る」 特選：松井はんな「個性」 奨励賞：情野　楓「たまたま、偶然」 第72回緑光会展　　奨励賞：松井はんな「友達」 奨励賞：中川　梓「一人じゃないから」 ミナミハラアートウォーク　部員全員で出品 第45回山形県高等学校総合文化祭　第69回山形県高等学校美術展　特選：中川　梓「憂懼を抱いて」奨励賞：大和紗千「17 years old」 奨励賞：松井はんな「個性」
吹奏楽研究	全日本吹奏楽コンクール置賜地区予選　優秀 全日本吹奏楽コンクール山形県大会　銀賞 全日本アンサンブルコンテスト置賜地区予選　金管七重奏　銀賞 サクソフォン四重奏　金賞 フルート三重奏　金賞 全日本アンサンブルコンテスト山形県大会　フルート三重奏　銀賞 第56回定期演奏会（米沢市市民文化会館）
新聞文芸	《新聞班》 第43回山形県高等学校新聞コンクール　優良賞 学校新聞「興譲」発行 《文芸班》 第20回　山形県高校文芸コンクール　短歌部門　最優秀賞・県高総文祭賞　石井倖之介　→R４年度　全国高等学校総合文化祭文芸部門短歌部門出場予定 第20回　山形県高校文芸コンクール　短歌部門　優秀賞・県高文連賞　石井倖之介 第20回　山形県高校文芸コンクール　短歌部門　優秀賞　石井倖之介 第20回　山形県高校文芸コンクール　短歌部門　佳作　石井倖之介 第23回全国高等学校文化連盟北海道・東北文芸大会（青森大会）文芸部誌部門出場　髙橋ののか 令和3年度置賜地区高等学校文化連盟文芸専門部研修会（米沢市）　参加 山形新聞社主催「U-39やましん紙上歌会」出品 文芸部誌「無限軌道」発行

部活動名	活動報告
ＣＳＳＣ（コアスーパーサイエンスクラブ）	・2021年度　グローバルサイエンスキャンパス　東北大学　探求型「科学者の卵養成講座」 自己推薦枠採択　１年　安齋穂乃花　佐藤　充朗　新野　暖仁　鑓水　大青 研究発展コースへ進展　１年　安齋穂乃花 ・2021年度　グローバルサイエンスキャンパス　宇都宮大学「君が未来を切り拓く！～宇大の科学人材育成プログラム～（iP－U）」 採択　１年　上野　能登 →基盤プラン終了後、才能育成プランに合格（次年度、宇都宮大学の研究室に所属し研究を行い、研究内容を英語で世界に発信） ・第45回全国高等学校総合文化祭自然科学部門 研究発表の部（化学部門）「乾燥温度の違いにおける含水率変化とメイラード反応」３年　綿貫　滉大　２年　井上　桃希 ・第45回山形県高等学校総合文化祭　展示部門　科学専門部 ポスター発表　「土壌の性質と植物生育の関連性」１年　安齋穂乃花 「白竜湖産コイのDNA系統判別計画」　１年　佐藤　充朗　佐藤　大空 「梨の酵素的褐変を防ぐ」１年　大木　翔　坂上　晴哉 「太陽光発電の放熱法としてのペルチェ素子の提案」１年　上野　能登　太田　陽介　鑓水　大青 「プログラムによるロボット制御」１年　遠藤　圭隼　喜多慎太朗　後藤　佳介　硯里　陽介　新野　暖仁 ・WRO Japan 2021 山形地区大会（県大会） レギュラーカテゴリーミドル部門シニア　第１位　「米沢興譲館CSSC-A」１年　鑓水　大青　遠藤　圭隼　後藤　佳介 →WRO Japan 2021決勝大会 in東京（オンライン全国大会）進出 山形地区大会（県大会）出場のみ「米沢興譲館CSSC-B」１年　上野　能登　硯里　陽介 ・WRO Japan 2021決勝大会 in東京（オンライン全国大会）出場　「米沢興譲館CSSC-A」１年　鑓水　大青　遠藤　圭隼　後藤　佳介 ・パソコン甲子園2021　プログラミング部門 予選参加　１年　吉田　渓　井上　桃希　原田　樹哉　１年　上野　能登　後藤　佳介　硯里　陽介　後藤　穂果　鑓水　大青 ・第21回日本情報オリンピック 敢闘賞（二次予選進出）２年　吉田　渓　１年　硯里　陽介 一次予選参加　２年　井上　桃希　１年　上野　能登　後藤　佳介　後藤　穂果 ・令和3年度山形県探究型学習課題研究発表会　科学専門部の部 優良賞（化学研究領域）「生地作成時の条件がうどんのコシに与える影響」２年　吉田　渓 参加（生物研究領域）「データ解析で清々しい目覚めと睡眠との関連性を探る」２年　井上　桃希 ・やまがたAI甲子園（３月開催） 出場予定　２年　井上　桃希　１年　安齋穂乃花　喜多慎太朗　新野　暖仁　後藤　穂果 ＜科学系講習会等への参加＞ ・イノベーター育成塾　所属　２年　吉田　渓　井上　桃希　原田　樹哉 ・やまがたAI部　所属　２年　井上　桃希　１年　安齋穂乃花　喜多慎太朗　新野　暖仁　後藤　穂果 ・電気通信大学高大連携基礎プログラミング講座　科目履修生　２年　吉田　渓　井上　桃希　原田　樹哉 １年　上野　能登　後藤　佳介　硯里　陽介　後藤　穂果 ・公益財団法人かずさDNA研究所主催「かずさの森のDNAキャンプ」参加　佐藤充朗 ＜科学系ボランティア等への参加＞ ・美しい山形・最上川フォーラム主催「身近な川や水辺の健康診断」（水質調査・水生生物調査）1・２年全部員参加 ・やまがた緑環境税活用事業「自然観察会（バードウォッチング）」１年全部員参加
ＳＳクラブ（スーパーサイエンスクラブ）	2021年度　グローバルサイエンスキャンパス　東北大学　探求型「科学者の卵養成講座」 自己推薦枠採択　１年　横山　華慧　２年　近野　稜太　市川　晴琉　後藤　優月 令和３年度　全国SSH生徒研究発表会 参加　「金属板を用いたμ粒子の寿命測定～宇宙線での物性調査を目指して～」３年　髙梨　美佳　髙橋　夢玖　宮原　杏奈 令和３年度　第11回科学の甲子園山形県大会 第３位　米沢興譲館高等学校 ２年　市川　晴琉　片倉叶多郎　若木　輝　梅津　昂征　梅津　大河　小林　諒真　梅津　宇希　大淵友加里 令和３年度山形県探究型学習課題研究発表会　一般の部 山形大学小白川キャンパス長賞（物理・化学）「μ粒子を活用した気象予報」 ２年　齋藤　遼真　竹下　恭平　船山　晃大　安部　結太　梅津　昂征　齋藤　映斗 優良賞（生物・地学）「デロビブリオ属細菌の塩基性における捕食作用の有無」２年　鈴木　一加　佐藤　樹　長　美咲　那須野佑奈 米沢市主催「米沢SDGsカンファレンス2021」にて事例発表 「風レンズのつばの形状による発電量の変化」３年　青木　凛久　今泉　輝　小林　碧 米沢市主催「令和３年度ゼロカーボンシティ推進シンポジウム」にて事例発表 「全固体電池の機能向上に用いるエピタキシャル薄膜の簡易的作成方法の確立」２年　島貫　脩平　鈴木　健斗　菊地　陽　地主　宗人　本田　凌空 令和３年度東北地区サイエンスコミュニティ研究発表会 オンライン発表「環境DNAを用いたコオイムシの生息環境の調査」２年　若木　輝　平　佑美　松井はんな　舩山　明莉
ＥＳＳ	令和３年度　山形県高校生英語ディベート大会　出場
調理科学	令和３年度　各種コンテスト中止
音楽	校内発表会（３年生引退コンサート）（本校講堂） 米沢ステージフェスティバル（米沢市市民文化会館） クリスマスコンサート（本校コモンホール） 第55回置賜地区高等学校合唱祭（白鷹町文化交流センター　あゆーむ）
その他	第73回東南置賜支部中学校・高等学校英語弁論大会 高等学校の部 第１位　１年　嵐田　倖永 第２位　２年　中川　梓 第３位　１年　袴田　か葉

令和２年度　体育文化後援会　決算書

収入の部　　（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

項目	当初予算額	補正額	補正予算額	決算額	増減	備考
一般会費	9,826,000	34,000	9,860,000	9,858,100	△ 1,900	年額　17,000円（保護者）当初予算人数578名
特別会費	408,000	0	408,000	408,000	0	年額　8,000円（教職員）当初予算人数51名
賛助会費	800,000	0	800,000	1,013,302	213,302	
繰越金	2,941,980	0	2,941,980	2,941,980	0	令和元年度会計より
合計	13,975,980	34,000	14,009,980	14,221,382	211,402	

支出の部

項目		当初予算額	補正額	補正予算額	決算額	増減	備考
事業費	上級大会派遣費	4,600,000	△ 2,200,000	2,400,000	1,687,574	△ 712,426	県大会以上・コンクール
	参加料	650,000	△ 346,000	304,000	273,600	△ 30,400	県大会以上参加料
	強化費	2,300,000	0	2,300,000	136,590	△ 2,163,410	遠征・合宿補助
	強化指導費	2,000,000	△ 800,000	1,200,000	552,726	△ 647,274	生徒引率旅費
	施設整備費	1,700,000	3,900,000	5,600,000	5,063,385	△ 536,615	体育館ピロティの人工芝化工事他
	奨励費	160,000	0	160,000	99,310	△ 60,690	懸垂幕・生徒表彰
	応援活動費	500,000	△ 500,000	0	0	0	
	小計	11,910,000	54,000	11,964,000	7,813,185	△ 4,150,815	
運営費	会議費	20,000	0	20,000	1,445	△ 18,555	各会議補助
	事務費	60,000	0	60,000	61,087	1,087	郵送料・振替手数料
	印刷費	300,000	0	300,000	263,120	△ 36,880	会報印刷代
	渉外費	60,000	0	60,000	0	△ 60,000	
	人件費	966,000	0	966,000	953,194	△ 12,806	団体職員人件費
	使用料	120,000	△ 20,000	100,000	85,161	△ 14,839	AEDレンタル料
	小計	1,526,000	△ 20,000	1,506,000	1,364,007	△ 141,993	
予備費		539,980	0	539,980	58,800	△ 481,180	顧問登録料
合計		13,975,980	34,000	14,009,980	9,235,992	△ 4,773,988	

令和３年度　体育文化後援会　予算

収入の部　　（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

項目	本年度予算額	前年度当初予算額	増減	備考
一般会費	8,657,000	9,826,000	△ 1,169,000	1年：17,000円×193名（保護者）2･3年：14,000円×384名（保護者）
特別会費	408,000	408,000	0	教職員：8,000円×51名
賛助会費	1,000,000	800,000	200,000	賛助会員
繰越金	3,597,390	2,941,980	655,410	令和２年度会計より
雑収入	0	0	0	
合計	13,662,390	13,975,980	△ 313,590	

支出の部

項目		本年度予算額	前年度当初予算額	増減	備考
事業費	上級大会派遣費	4,600,000	4,600,000	0	県以上大会・コンクール
	参加料	650,000	650,000	0	県以上大会・コンクール参加料
	強化費	2,300,000	2,300,000	0	遠征・合宿補助
	強化指導費	2,000,000	2,000,000	0	生徒引率旅費　顧問登録料
	施設整備費	1,700,000	1,700,000	0	備品費・修繕費他
	奨励費	160,000	160,000	0	懸垂幕・生徒表彰他
	応援活動費	500,000	500,000	0	応援補助
	小計	11,910,000	11,910,000	0	
運営費	会議費	10,000	20,000	△ 10,000	各会議経費
	事務費	60,000	60,000	0	事務用品・郵送料・振替手数料
	印刷費	300,000	300,000	0	会報印刷代
	渉外費	60,000	60,000	0	会長（旅費・参加費）
	人件費	1,042,000	966,000	76,000	団体職員人件費
	使用料	80,000	120,000	△ 40,000	セコムＡＥＤレンタル代 １ヶ月使用料￥6,600×12ヶ月分他
	小計	1,552,000	1,526,000	26,000	
予備費		200,390	539,980	△ 339,590	
合計		13,662,390	13,975,980	△ 313,590	

決　算　額

収入額 14,221,382　－　支出額 9,235,992　＝　残額 4,985,390　（次年度へ繰越）

米沢興譲館高等学校体育文化後援会規約

（名称・事務局）

第一条　本会は、米沢興譲館高等学校体育文化後援会（以下「本会」という）と称する。

二、本会の事務局を米沢興譲館高等学校（以下「本校」という）内に置く。

（目　的）

第二条　本会は、本校における部活動をはじめとする、体育文化活動の振興及び発展を図ることを目的とする。

（事　業）

第三条　本会は、第二条の目的を達成するために、次の事業を行う。

（一）本校の体育文化活動の振興及び発展のために必要と認める事業。

（二）その他本会の目的達成のために必要な事業。

（組　織）

第四条　本会は、保護者（一般会員）及び、教職員（特別会員）、ＯＢ・ＯＧ等本会の目的に賛同する者（賛助会員）を以て組織する。

（役　員）

第五条　本会に会長（一名）、副会長（三名）、理　事（六名）、幹事（七名）、監事（二名）の役員を置く。

二、役員の任期は一年とする。但し再任を妨げない。

（役員の選出）

第六条　役員は下記により選出し、総会の承認を得ることとする。

（一）会長は、理事会で選出する。

（二）副会長は、校長、教育振興会会長及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された一名がこれにあたる。

（三）理事は、教育振興会副会長三名（一・三学年の部会長、教頭）及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された三名がこれにあたる。

（四）幹事は、教頭、事務部長、生徒課長、総務課長、保護者一名（二学年）及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された二名がこれにあたる。

（五）監事は、保護者二名（一・三学年各一名）がこれにあたる。

（役員の任務）

第七条　役員の任務は次の通りとする。

（一）会長は会務を統括し、本会を代表する。

（二）副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。

（三）理事は本会の運営について審議する。

（四）幹事は会務の企画、立案、執行にあたる。

（五）監事は本会の事業並びに会計を監査する。

（顧　問）

第八条　本会に顧問を置くことができる。

二、顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

（事務局）

第九条　事務局は、会長委嘱による事務局員で構成し、日常業務を処理する。

（会　議）

第十条　本会の会議は総会、理事会、幹事会とする。

（一）総会は年一回召集し、役員の承認、予算・決算の承認、規約の改正、その他必要事項を議決する。また、必要あるときは臨時総会を召集することができる。

（二）理事会、幹事会は必要に応じて随時会長が召集し、総会に提出する議案に関すること、本会の運営に関すること、その他必要事項を審議する。

（三）理事会は会長、副会長、理事で構成する。

（四）総会及び理事会の議長は会長が務める。

幹事会の議長は教頭が務める。

（経　費）

第十一条　本会の経費は、一般会員会費、賛助会員会費、その他の収入を以てこれにあてる。

（一）各会員の会費は次の通りとする。

一般会員（保護者）一七、〇〇〇円

特別会員（教職員）　八、〇〇〇円

賛助会員（原　則）一〇、〇〇〇円以上

（二）一般会員が「山形県立高等学校の授業料等徴収条例」第八条の授業料の減免に該当したときは会費を減免できるものとする。ただし、納付済みのものについてはこれを行わない。

（会計年度）

第十二条　本会の会計年度は毎年四月一日から翌三月三十一日までとする。

〔付　則〕

本会の規約は、次のとおり制定・改正する。

昭和三十二年九月十九日制定

昭和四十年六月一日改正

昭和四十五年十二月五日改正

昭和四十九年五月十五日改正

昭和五十一年三月二十四日改正

平成三年三月一日改正

平成四年五月二十二日改正

平成十五年四月二十六日改正

平成二十年四月二十八日改正

平成二十四年四月二十六日改正

平成三十一年四月二十五日改正

令和三年度 体育文化後援会役員

顧　問　駒形　衛　土澤　幸雄　内藤　文徳

会　長　小島長五郎

副会長　曽根　伸之（校長）　漆山　裕（二学年）　宗川　真希

理　事　髙木　真也（三学年）　小野　卓也（一学年）　中村　純一（教頭）　遠藤　岩根　我妻　弘一　原田　正夫　中村　純一（教頭）　原田　典仁（事務部長）　手塚　剛（生徒課長）　石黒　宏治（総務課長）　宍戸　俊文（二学年）　鈴木　基　鈴木　文雄

監　事　是川　邦子（三学年）　後藤　喜彦（一学年）

事務局長　猪俣　幸一（職員）

事務局　小林　啓明（職員）　坂野　理絵（職員）　伊藤　謙汰（職員）　山口　大輔（職員）　向田　智弘（職員）　山口　英雄（職員）　舩山　洋子（職員）　古山　広美（職員）

賛助会員名簿

（敬称略順不同・令和４年２月15日現在）

㈱杏山会　吉川記念病院　長井市
㈱くまの医院　米沢市
㈱さの医院　米沢市
㈱三條歯科医院　米沢市
㈱積仁会　松下クリニック　長井市
㈱大道寺医院　米沢市
㈱田中クリニック　米沢市
（一財）三友堂病院　米沢市
（特非）赤とんぼ　米沢市
あさひ歯科医院　米沢市
安部　哲　米沢市
井上榮子　長井市
猪口春夫　米沢市
駅前　最上接骨院　米沢市
遠藤岩根　米沢市
黄木脳神経クリニック　米沢市
太田建設㈱　米沢市
小野隆夫　米沢市
花園　米沢市
柿崎悦子　米沢市
金子建設工業㈱　米沢市
かねしめ水産㈱　米沢市
草刈　章　埼玉県沼津
県南自動車学校　高畠町
コカ・コーラボトラーズジャパン㈱　米沢市
粉雪の海賊団　米沢市
齋藤榮助　米沢市
酒井耳鼻咽喉科医院　米沢市
佐藤歯科医院　白鷹町
山水克美　南陽市
島貫洋人　米沢市
尻高邦夫　米沢市
鈴木歯科医院　米沢市
税理士法人　豊　米沢市
セゾンファクトリー　高畠町
セブンイレブン　米沢杉の目町店　米沢市
相馬写真館　米沢市
高橋歯科医院　米沢市
千代田電工㈱　米沢市
東武トップツアーズ㈱　山形支店　山形市
内藤英一　埼玉県沼津
内藤文徳　米沢市
中條良文（中條歯科医院）　米沢市
中條医院　米沢市
日本防災工業㈱　米沢市
林歯科医院　米沢市
ハヤシ薬局　米沢市
ホテルモントビュー米沢　米沢市
本田貞夫　米沢市
本田健夫　宮城県栗原市
松岸歯科医院　川西町
マッキドライビングスクール　米沢校　米沢市
宗川巧業㈱　米沢市
山川広治　東京都大田区
山口　晃（S・49年卒）　新潟県新潟市
米沢信用金庫　米沢市
我妻建設工業㈱　米沢市
㈱吾妻スポーツ　米沢市
㈱一文字屋　米沢市
㈱植杉造園　米沢市
㈱エービーエム　米沢市
㈱遠藤書店　米沢市
㈱川島印刷　米沢市
㈱キムラ　米沢市
㈱小池商店　米沢市
㈱小嶋総本店　米沢市
㈱小島洋酒店　米沢市
㈱後藤組　米沢市
㈱殖産工務所　川西町
㈱振興電気　米沢市
㈱データシステム米沢　米沢市
㈱ナウエル　米沢市
㈱西方商店　米沢市
㈱羽陽印刷　米沢市
㈱平山孫兵衛商店　米沢市
㈱フーディー　米沢市
㈱本多建設　米沢市
㈱山形読売旅行会　米沢市
㈱ヤリミズ自動車　米沢市
㈱米沢牛黄木　米沢市
㈱米沢自動車学校　米沢市
㈱りんご苑　高畠町
㈱上杉コーポレーション　米沢市
山交観光㈱米沢案内所　米沢市
土澤幸雄　米沢市
㈲キョウドウ印刷　米沢市
㈲三愛サービス　米沢市
㈲ナカタ薬局　米沢市
㈲肉のさかの　米沢市
㈲毘龍レンタカー　米沢市
㈲山木 鈴木商店　米沢市
㈲ヨネザワバス観光　米沢市
弓道部後援会
興譲館柔道部ＯＢ・ＯＧ会
興譲館高校卓球部ＯＢ会
興譲館野球部ＯＢ会
興庭会（ソフトテニスＯＢ会）
サッカー部ＯＢ会
水泳部ＯＢ会
吹研クラブＯＢ会
バスケットボール部ＯＢ・ＯＧ会
米興羽会（バトミントン部ＯＢ会）
米沢興譲館39会
剣道　無学会
山岳部ＯＢ会
陸上競技部後援会

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました。